大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2020年第10週(3月2日~3月8日)

今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 減少続くも昨年同時期より高い」

第10週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,329例であり、前週比5.4%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、水痘、の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.02、2.19、0.40、0.30、0.29である。

感染性胃腸炎は前週比15%減の595例で、南河内5.81、泉州4.85、中河内3.90、北河内2.96、大阪市南部2.78であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%増の432例で、泉州3.25、堺市3.05、南河内2.81である。

RSウイルス感染症は20%増の78例で、南河内1.19、泉州0.80、大阪市北部0.57であった。

咽頭結膜熱は6%増の59例で、北河内0.56、中河内0.55、三島0.47である。水痘は6%減の58例、大阪市北部0.5、北河内0.48、中河内・豊能0.45であった。

インフルエンザは25%減の2,197例で、定点あたり報告数は7.32であり、北河内11.00、中河内10.52の2ブロックでまだ注意報レベルを超えている。

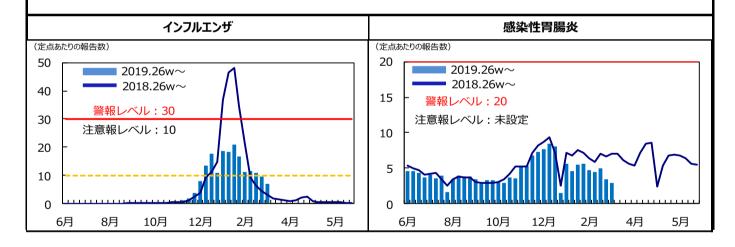


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2020年第10週3月2日~3月8日)

第10週 の順位	第9週の 順位	感染症	2020年 第10週の 定点あたり 報告数	前週比增減	2019年 第10週の 定点あたり 報告数	2020年第10週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	3.02	15%減	7.06	1歳_14%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.19	4%増	2.95	5歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.40	20%増	1.13	1 歳未満_44%
4	5	咽頭結膜熱	0.30	7%增	0.36	1歳_22%
5	4	水痘	0.29	6%減	0.27	5歳_24%
参考	_	インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	7.32	25%減	3.18	10-14歳_22%

第10週のコメント

~新型コロナウイルス感染症~ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、中国を中心に感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。 臨床的な特徴として、潜伏期間は1~14日(平均 5.6日)で あり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状 が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の 症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢 者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。 感染 拡大を防ぐには、手洗いや咳エチケットの徹底、換気、早期探知、 封じ込めが重要である。

<u>感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)</u> 新型コロナウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

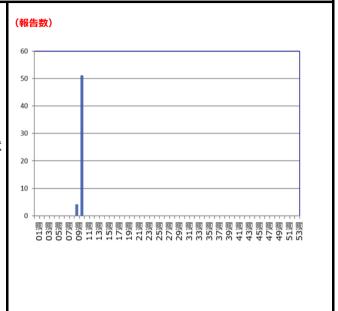


表 2. 大阪府全数報告数 (2020年 第10週3月2日~3月8日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】発生動向調査> 全数報告 をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。) 府 報 疾患名 報 北 中 南 大 堺 豊 =泉 内 ()内の病型は今週報告分のみ 河 河 河 阪 告 告 累 能 島 市 州 府内累積報告数の内訳は省略 数 内 内 市 数 内 積 4類感染症 レジオネラ症(肺炎型) 2 1 1 21 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 1 28 クロイツフェルト・ヤコブ病 1 1 2 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 14 1 ジアルジア症 1 2 5類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 13 1 侵襲性肺炎球菌感染症 1 1 45 梅毒 6 1 5 159 百日咳 5 1 1 61 新型コロナウイルス感染症 **51** 55 指定感染症 結核 新登録患者巣:145名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 52名) 結核 (2019年12月分) (府内累積報告数 1,636名、内 肺・喀痰塗抹陽性 638名)

(2020年3月10日 集計分)